

水道水中における放射性物質の測定結果について

1. 発表内容

本市では、東京電力株式会社福島第一・第二原子力発電所の事故以降、水道水中の放射性物質の測定について、文部科学省の委託により三重県保健環境研究所（桜町3684番地）が測定している水道水及び大気中からの降下物の濃度測定結果を監視してきたところであり、これまでに水道水中からは放射性物質が検出されていない状況にあります。

しかしながら、7月15日に愛知県企業庁の浄水発生土から放射性物質が最大で71Bq/kg検出されたことから、本市水道水の安全性を確認するため、自主的に市内の水源地5箇所では放射性物質の測定を行った結果、全ての水源地で放射性物質が検出されていないことを確認することができました。

（参考）

本市の水道水は、員弁川、朝明川、三滝川、内部川の付近の井戸から取水した地下水を水源として利用しているもの（約2/3）と三重県北勢水道用水（木曾川用水系、三重用水系、長良川系）を三重県企業庁から受水したもの（約1/3）からなっており、配水池で合流させ市内に配水しています。

2. 測定項目

放射性ヨウ素（ヨウ素 131）

放射性セシウム（セシウム 134及びセシウム 137）

3. 測定方法

ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー

4. 測定場所

四日市市上下水道局水源地5箇所（三滝、三滝西、朝明、小牧、内部）

5. 試料採水日

平成23年8月8日（月）

6. 分析結果

採水を実施した水源地全5箇所において、全ての項目が不検出でした。

（詳細は別紙参照）

7. その他特記事項

・三重県企業庁から受け入れている水道水については、企業庁が別途検査を実施し、不検出であることが確認されました。（平成23年8月2日）

連絡先

四日市市上下水道局技術部施設課
担当：水質管理室 市川・金津
電話：354-8368

(別紙)

四日市市の水道水の放射性物質の分析結果

試料採取日 平成 23 年 8 月 8 日

測定地点	放射性ヨウ素 (ヨウ素-131)	放射性セシウム (セシウム-134)	放射性セシウム (セシウム-137)
三滝水源地	不検出	不検出	不検出
三滝西水源地	不検出	不検出	不検出
朝明水源地	不検出	不検出	不検出
小牧水源地	不検出	不検出	不検出
内部水源地	不検出	不検出	不検出

不検出は 0.4 ~ 0.6 Bq / kg 以下

(参考)

原子力安全委員会が定めた飲料物制限に関する指標値

放射性ヨウ素 (飲料水) 300 Bq (ベクレル) / kg 以下

放射性セシウム (飲料水) 200 Bq (ベクレル) / kg 以下